

令和 5 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 19			学校名		県立つくば特別支援学校								学校長名		中村 千秋				
教頭名	酒井 直彦				教頭名		秋山 絹代			教頭名		伊藤 慎吾				事務（室） 長名		速水 崇行		
教職員数	教諭	162	指導 教諭	1	養護 教諭	1	養護助 教諭	2	栄養 教諭	1	栄養 職員	1	常勤 講師	38	非常勤 講師	9	SSS	1		
	実習 助手	2	事務 職員	6	学校 用務員	2	指導看 護職員	1	看護 職員	9	介護員	2	調理員	8	学校医 等	7	計	258		
幼児・ 児童・ 生徒数	部		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	小学部		16	13	21	12	27	4	18	12	28	12	17	8	127	61	52			
	中学部		18	11	24	8	27	11									69	30	29	
	高等部		16	13	25	17	16	11									57	41	23	
	計															253	132	104		

2 目指す学校像

- ◆安心して生活できる安全な学校
- ◆学ぶことが楽しい！みんなの笑顔が輝く学校
- ◆保護者や地域社会とともに歩む開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・ 県内唯一の知肢併設の特別支援学校であり、様々な障害のある児童生徒が在籍しており、一人一人の障害の状況に応じた指導支援の充実が求められている。 ・ 新校舎が増築され現在のところ教室不足は解消している。しかし依然として児童生徒数は増加傾向であり、敷地は広がっておらず、施設設備も一部老	一人一人の障害の状況に応じた適切な指導支援の一層の充実 安心安全な教育環境・職場環境の整備

	朽化しつつある。そのため、学習活動における安全安心な環境づくりに、より一層の配慮が必要となる。 ・教職員数は 250 名を超えており、各職員が情報共有の大切さを十分に自覚し、お互いを尊重し支え合う意識を持ち職務に取り組む必要がある。	情報共有の大切さの自覚と、お互いを尊重し支え合う意識の向上
学習指導	・一人一人の障害の状況に応じた適切な指導支援をするべく全職員で取り組んでいる。 ・ICT 活用については、昨年度の研修をふまえ、タブレットの活用はじめ、様々な授業実践が行われているところである。 ・今年度は学校全体で「特別の教科 道徳」について研修センターから講師を招聘し研修する予定である。 ・知的障害部門では各部で適正な実態把握及び進路指導の充実について、また、肢体不自由部門ではコミュニケーションや言語に関する能力や「図画工作科・美術科」の研修を進めている。	一人一人の障害に応じた指導支援の充実 様々な ICT 活用実践の共有 教育研修センターの校内支援を活用した研修の実施 美術科指導教諭による授業の充実及び研修

4 中期的目標

1 主体的・対話的で深い学びの授業実践の進展	カリキュラムマネジメントの確立
2 安心・安全な教育環境・職場環境の整備	
3 地域とともに歩む学校としての支援力強化	コミュニティスクール実施

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1 資質・能力を伸ばす指導・支援の充実	①主体的・対話的で深い学びへの授業改善 ②外部専門家との連携による自立活動の充実 ③ICT を活用した教育の推進
2 安全で安心な教育環境の整備	①学校事故の未然防止とより安全な校内指導体制の検討 ②いじめや体罰を見逃さず、安心して生活できる学校環境の構築 ③教育環境・職場環境の整備
3 自立と社会参加をめざす教育の充実	①児童生徒一人一人の将来を見据えたキャリア教育の推進 ②関係機関との連携による進路学習や進路指導の充実 ③スポーツ・文化活動をととした教育活動の推進
4 家庭・地域との確かな連携	①特別支援教育の理解・推進を促す情報の公開と発信 ②主体的な PTA 活動の推進 ③地域との積極的な連携強化